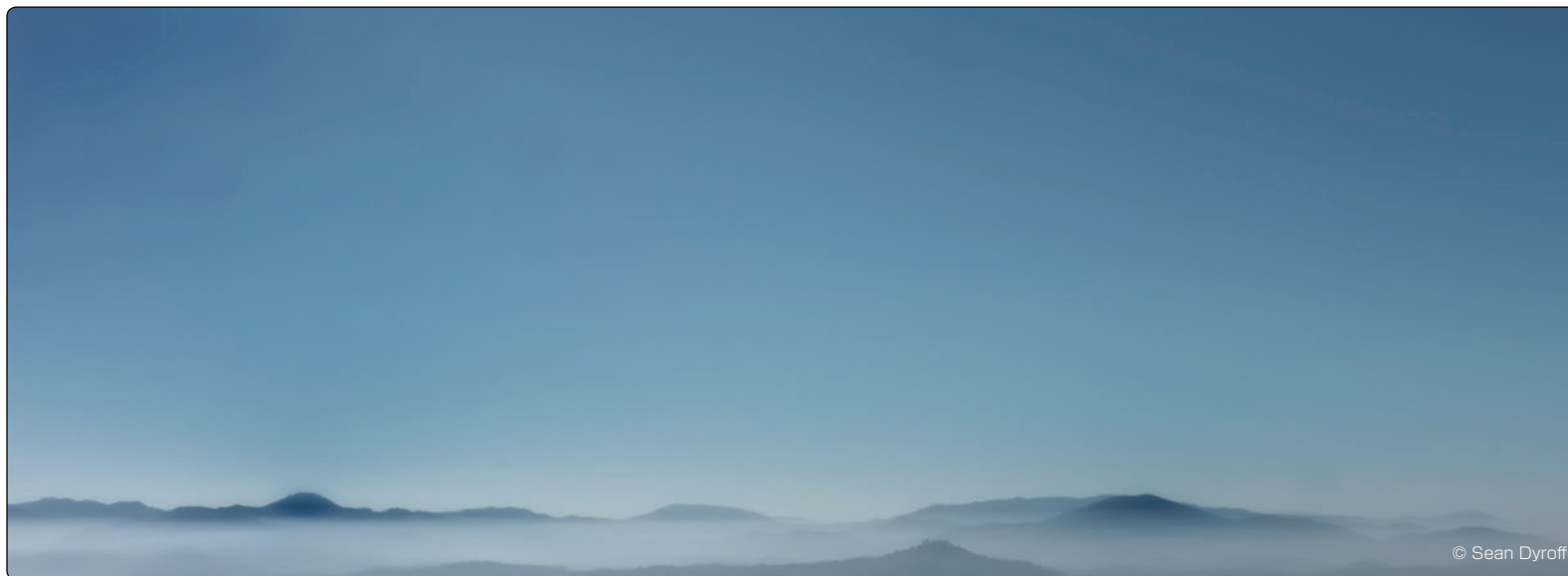




Nik Software  
**Viveza**<sup>TM</sup>  
使用説明書



## 第 1 章

# はじめに

Viveza ™ および使用説明書について



## 使用説明書の内容

本使用説明書にはインストール方法のほか、画像へのフィルタ効果の適用方法が説明されています。

## はじめに

Nik Viveza をお買い上げいただき、ありがとうございます。Viveza は写真の色と光を自在にコントロールできるパワフルで精度の高いツールです。Viveza は Nik Software の特許技術である U Point® テクノロジーを搭載しています。これにより、複雑な選択範囲や難しいレイヤーマスクを作成することなく、写真の一部を編集、調整することのできる今までにないツールです。

コントロールポイントを使うには、画像内のオブジェクトに直接コントロールポイントを置き、明るさ、コントラスト、彩度、色相などのスライダを調整するだけで実行できます。この方法で画像の細部を正確に捉えて編集を実行することができます。

Viveza は画像の編集作業を今までとは全く違ったものにするでしょう。より早く、より効率的に、撮影後の作業を明確にすることができます。Viveza は画期的な新しい編集作業を提供します。



© Tony Corbell

## 第2章

# インストール

Viveza のインストール

## インストール

Viveza は、Adobe® Photoshop® や Apple® Aperture™、Adobe Photoshop Lightroom®、その他の互換性のあるアプリケーション用のプラグインです。Viveza のインストーラは、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Adobe Photoshop Lightroom または Apple Aperture がインストールされている場所を検索します。

## Viveza および選択ツールのインストール

Viveza をインストールする前に、Adobe Photoshop や Adobe Photoshop Lightroom、Apple Aperture、その他の画像編集アプリケーションなど、Viveza のホストになるすべてのアプリケーションを閉じてください。インストールの間は、他のアプリケーションは一切開かないでください。

インストールを始めるには：

Viveza の CD にあるインストールファイルまたは Nik Software のウェブサイトからダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックします。Viveza セットアップウィザードのウィンドウが表示されます。

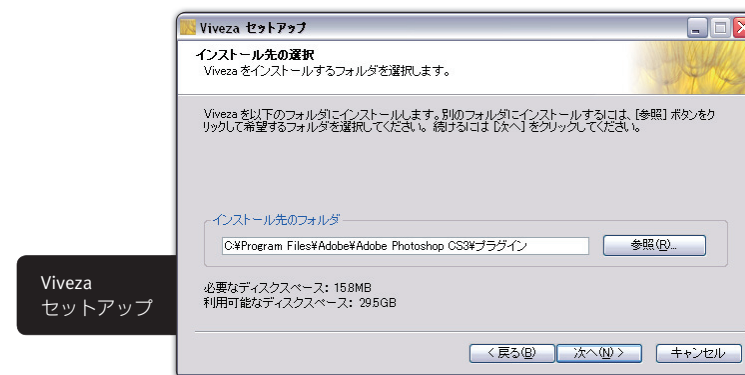


インストーラはインストールのためのステップを示します。

「リード・ミー」ファイルを読んで、使用許諾契約書に同意しクリックすると、インストーラが画像編集アプリケーションのプラグインの場所を確認してきます。

インストーラは、Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements の一番新しいインストールの場所を探します。見つかった場合は、推奨フォルダが

表示されます。Adobe Photoshop Lightroom もしくは Apple Aperture にインストールする場合は、自動的に適切な位置にインストールされます。



インストーラが Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements を見つけられない場合、またはその他の画像編集アプリケーションが使用されている場合は、インストールのために適切なパスを指定する必要があります。

Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements の場合、インストールの場所はアプリケーションのメインのフォルダの中にある「プラグイン」フォルダです。以下に例を示します。

### Adobe Photoshop の場合

Windows – C:\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop\ プラグイン

Macintosh – Macintosh HD : アプリケーション : Adobe Photoshop : プラグイン

### Adobe Photoshop Elements の場合

Windows – C:\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop Elements\Plug-Ins

Macintosh – Macintosh HD : アプリケーション : Adobe Photoshop Elements : Plug-Ins

[参照...] をクリックし、[フォルダの参照] ウィンドウを開いて、該当するフォルダへ移動します。

**注意：** Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements 以外のアプリケーションの「プラグイン」フォルダの場所については、該当するアプリケーションの使用説明書をご参照ください。

適切なフォルダを選択したあと、[インストール] をクリックします。インストールが完了すると、インストーラの最後の画面が表示されます。

Viveza を自動的に Lightroom の外部エディタのリストに追加したい場合は、[外部エディタとして Lightroom に追加する] のボックスをチェックしたままにしておきます。このオプションは、インストール時に Lightroom が検出された場合にのみ表示されます。手動で Viveza を Lightroom の外部エディタとして追加する手順はこの章に記載されています（「[Lightroom の外部エディタとして Viveza を追加](#)」をご参照ください）。

Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements の起動時に選択ツールを開きたい場合は、Nik Selective Tool [選択ツール] のボックスをチェックしたままにしておきます。選択ツールを使用すると、Viveza の効果を Adobe Photoshop や Adobe Photoshop Elements のレイヤーとして適用します（「[第6章：選択ツール](#)」をご参照ください）。

Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements の起動時に選択ツールを開きたくない場合は、このボックスのチェックを外します。このオプションは、選択ツールの設定インターフェイス上で変更することができます（「[第8章：選択ツールの設定](#)」をご参照ください）。

**注意：** 選択ツールは、Adobe Photoshop や Adobe Photoshop Elements 内で Viveza を利用する場合のみ使用可能です。

[完了] をクリックしてインストールを終了します。

## Adobe Photoshop での Viveza および選択ツールの使用

インストール終了後、使用する画像編集アプリケーションを起動します。

Adobe Photoshop や Adobe Photoshop Elements では、Viveza は [フィルタ] メニューよりアクセスできます。

**Adobe Photoshop や Adobe Photoshop Elements で Viveza の使用を開始するには：**

1. 補正したい画像を開きます。
2. [フィルタ] メニューをクリックします。
3. [Nik Software] サブメニューにマウスのカーソルを持っていきます。ポップアップメニューが表示されます。
4. ポップアップメニューから [Viveza] を選択します。

Viveza のインターフェイスが開き、上記のステップ1で指定した画像が表示されます。

選択ツールは、以下に示す方法で 사용할 수 있습니다。

### Adobe Photoshop の場合

[ファイル] > [自動処理] > [Nik Selective Tool...]

### Adobe Photoshop Elements の場合

[ファイル] > [自動処理] > [Nik Selective Tool...]

## Apple Aperture での Viveza の使用

Apple Aperture では [イメージ] メニュー から Viveza にアクセスできます。

**Apple Aperture で Viveza の使用を開始するには：**

1. 補正したい画像を選択します。

2. [イメージ]メニューをクリックします。
3. [外部エディタまたはプラグインで編集]サブメニューにマウスのカーソルを持っていきます。ポップアップメニューが表示されます。
4. ポップアップメニューから[Viveza]を選択します。

Viveza のインターフェイスが開き、上記のステップ 1 で指定した画像が表示されます。

## Lightroom の外部エディタとして Viveza を追加

Viveza のインストール時に Lightroom が検出された場合は、Viveza は外部エディタとして自動的に追加されます。また、Lightroom の外部エディタとして手動で追加することもできます。手動で Viveza を外部エディタとして追加するには、以下の手順に従ってください。

1. Lightroom の [環境設定] を開きます。
2. [外部編集] タブをクリックします。
3. [追加外部エディタ] セクションで [ファイル形式]、[カラースペース]、[bit 数]、[解像度]、[圧縮] を選択します。

**注意：**VivezaはTIFFファイル（8bit、16bit、圧縮なし、LZW圧縮）のみ対応しています。

4. [選択] をクリックして Viveza の場所を指定します。

**Windows の場合、Viveza がデフォルトでインストールされる場所は：**

C:\Program Files\Nik Software\Viveza for Lightroom

**Macintosh の場合、Viveza がデフォルトでインストールされる場所は：**

Macintosh HD : アプリケーション : Nik Software : Viveza for Lightroom

5. Viveza ファイルを選んだら [選択] をクリックします。

6. プリセットメニュー内の [現在の設定を新規プリセットとして保存 ...] を選択して名前を付けてください。

追加が終わると [写真] メニューより外部エディタとして Viveza に簡単にアクセスできます。

## Lightroom での Viveza の使用

一度外部エディタとして Lightroom に追加されると、Viveza は [写真] メニューよりアクセスできます。

**Lightroom で Viveza の使用を開始するには：**

1. 補正したい画像を選択します。
2. [写真] メニューをクリックします。
3. [他のツールで編集] サブメニューにマウスカーソルを持っていきます。ポップアップメニューが表示されます。
4. ポップアップメニューから Viveza を選択します。
5. [Lightroom 調整でコピーを編集]、[コピーを編集]、[元画像を編集] の中から 1 つ選択します。

**注意：**[Lightroom調整でコピーを編集]を選択する場合、コピーファイルのオプションも決定しなければいけません。Vivezaで編集する新規ファイルのファイル形式、カラースペース、bit数、解像度、圧縮をそれぞれ選択します。

※VivezaはTIFFファイル（8bit、16bit、圧縮なし、LZW圧縮）のみ対応しています。

6. [編集] をクリックすると Viveza のインターフェイスが開き、上記ステップ 1 で指定した画像が表示されます。



## 第3章

# ワークフロー

画像補整のためのワークフローとコツ

## ワークフロー

画像補正の手順は、画像によりますが主に以下のような点を考慮します。

- ワークフローのなるべく早い段階で Dfine® 2.0 のノイズ低減ツールを使用します。
- 必要に応じて Sharpener Pro™ 3.0 の RAW プレシャープネスを適用します。
- 次に Viveza™ で色や光を編集(全体→部分)し、その後 Color EfexPro™ 3.0 や Silver Efex Pro™ などのツールで画像の作りこみを行ってください。
- ワークフローのなるべく終わりに近い段階で Sharpener Pro™ 3.0 の出力用シャープネスで、出力用またはクリエイティブシャープネスを適用します。



© 2009 Ryan Maher

ワークフロー図



## Viveza ワークフロー

色カブリ、コントラスト、色調など、画像全体に影響を与える要素から作業を開始します。次に、斑点や障害となる小さなオブジェクトなど、部分のみに影響を与える要素を修正します。最後に、画像にスタイルやモードを追加するエフェクトを適用します。以上のように、画像全体から特定の箇所へと作業を進めます。

Viveza で最適の画質を得るには、以下の手順に従ってください。

1. 画像の最も目立つ編集が必要な部分にコントロールポイントを置き、調整します。
2. 必要に応じてさらに編集をしたい部分にコントロールポイントを追加します。
3. 編集を加えたくない部分が他の部分の影響で変更されることを防ぐために、保護したい部分にサイズのスライダ以外のスライダの値が 0 になっているコントロールポイントを追加します。
4. ナビゲータズームを使用し画像をチェックします。
5. OK (Photoshop) または保存 (Lightroom または Aperture) をクリックし、フィルタ効果を適用します。



## コントロールポイントで画像を編集

コントロールポイントは素早く簡単に画像を編集することを可能にします。次の画像は4つのコントロールポイントを使用して編集されたものです。



画像で作業を始める前にまずその写真にどのような問題点があるか、または、どのような編集を行いたいかを明確にしておくことをお勧めします。この画像の場合、空の色が明るすぎていて、コントラストが充分ではありません。そして、この少女が暗く写っているので、背景に溶け込んでしまっています。さらに、背景の砂がぼんやりしているので、砂の色を少し暗くして、より少女に注意が注がれるようにしましょう。この画像の編集は次のように行います。

1. コントロールポイントを空の部分に追加します。空の色を暗くするため、明るさのスライダの値を減らします。そしてコントラストのスライダの値を増やし、よりダイナミックに見えるようにします。サイズスライダの範囲を拡大し、空全体にコントロールポイントの影響が及ぶようにします。



2. コントロールポイントを少女の顔の部分に追加します。明るさとコントラストのスライダの値を増やします。この調整で背景と少女の顔がはっきり区別され、より少女に注目が集まるようになります。



3. コントロールポイントを砂の部分に追加します。明るさと彩度のスライダの値を減らし、背景から少女を浮き立たせるようにします。サイズスライダの値を増やし砂全体に編集の影響が及ぶようにします。



コントロール  
ポイントを砂  
の部分に追加

4. 空の部分に追加したコントロールポイントによって雲の色にもコントロールポイントでの編集が加わってしまっています。そこでスライダの値を変更していない新しいコントロールポイントを雲の部分に追加することで空の部分のコントロールポイントの影響を受けないようにします。



コントロール  
ポイントを雲の  
部分に追加

## スマートフィルタとして Viveza を使用 (Adobe Photoshop 内で利用する場合のみ)

Adobe Photoshop CS3 または CS4 で編集する場合、Viveza をスマートフィルタとして適用することができます。スマートフィルタは、フィルタのインターフェイスを閉じた後でもフィルタの設定を調整することが可能です。PSD としてファイルを保存すれば、いったんその画像と Photoshop を閉じた後でもフィルタの設定を非破壊で調整することができます。

スマートフィルタとして作業する場合、ブラシボタンは使用できません。そしてフィルタはアクティブレイヤーに適用されます（OK をクリックした後でも、設定は別のレイヤーオプションとして設定されます）。

Viveza をスマートフィルタとして使用するには：

1. レイヤーパレットの中で Viveza を適用するレイヤーを選択します。
2. [フィルタ]メニューをクリックします。
3. [スマートフィルタ用に変換]を選択します。
4. 再度、[フィルタ]メニューを選択します。
5. サブメニューの中から [Nik Software] を選ぶとポップアップメニューが現れます。
6. [Viveza] を選びます。

**注意：**スマートフィルタは Adobe Photoshop CS3 または CS4 内で利用する場合にのみ使用可能です。

**注意：**画像に回転や変形を加える場合は Viveza をスマートフィルタとして適用する前に行ってください。Viveza をスマートフィルタとして適用した後に回転や変形を加えると違ったフィルタ効果になってしまいます。

Viveza は Lightroom または Aperture 内で編集する場合、複数の画像に適用することができます。

## 複数画像のコントロール

### (Lightroom 内で利用する場合)

Viveza を複数の画像に適用するには、以下の手順に従ってください。

1. Shift キーを押しながら連続した画像を選択するか、Control / Command キーで個々の画像を選択します。
2. [写真] メニューをクリックします。
3. [他のツールで編集] サブメニューにマウスカーソルを持っていくと、ポップアップメニューが表示されます。
4. ポップアップメニューから [Viveza] を選択します。

Viveza を複数の画像に適用する場合、[前へ]、[次へ]、[すべてを保存] の新しい画像コントロールボタンが追加されます (第5章の「複数画像のコントロール」を参照してください)。

## 複数画像のコントロール

### (Aperture 内で利用する場合)

Viveza を複数の画像に適用するには、以下の手順に従ってください。

1. Shift キーを押しながら連続した画像を選択するか、Command キーで個々の画像を選択します。
2. [イメージ] メニューをクリックします。
3. [外部エディタまたはプラグインで編集] サブメニューにマウスカーソルを持っていくと、ポップアップメニューが表示されます。
4. ポップアップメニューから [Viveza] を選択します。

Viveza を複数の画像に適用する場合、[前へ]、[次へ]、[すべてを保存] の新しい画像コントロールボタンが追加されます (第5章の「複数画像のコントロール」を参照してください)。



## 第4章

# U Point<sup>®</sup> テクノロジー

Viveza のパワーの背景



U Point テクノロジーについてのさらに詳細な情報は [www.upoint.com](http://www.upoint.com) をご覧ください。

## U Point® テクノロジー

Viveza には U Point 画像編集テクノロジーが搭載されています。U Point テクノロジーは画像の一部を直接編集することを可能にしたり、他のソフトウェアで行う場合必要なマスクを作成するといったような時間のかかる処理を一切必要とせず、画像の一部を簡単に選択して編集を加えられます。

U Point テクノロジーはシンプルな操作性でありながら、パワフルで高精度で直接的な色と光のコントロールを提供します。

コントロールポイントは基準値に基づいてオブジェクトを特定し作動します。画像にコントロールポイントを置くと、U Point テクノロジーはコントロールポイントを置いたオブジェクトの位置、色、彩度、テクスチャを含む固有の構成要素を特定します。コントロールポイントはこれらの構成要素とサイズスライダとの連結でオブジェクトの境界線を認識し、選んだオブジェクトとそれに似たようなオブジェクトにのみ影響を与えるようにします。画像に追加した全てのコントロールポイントはお互いに連動し、画像全体の複数のオブジェクトを継続的にコントロールします。コントロールポイントは置かれた場所のみに影響するので、既定値の設定のままのコントロールポイントを置くことで、そのオブジェクトが他のコントロールポイントの影響を受けるのを防ぐことができます。

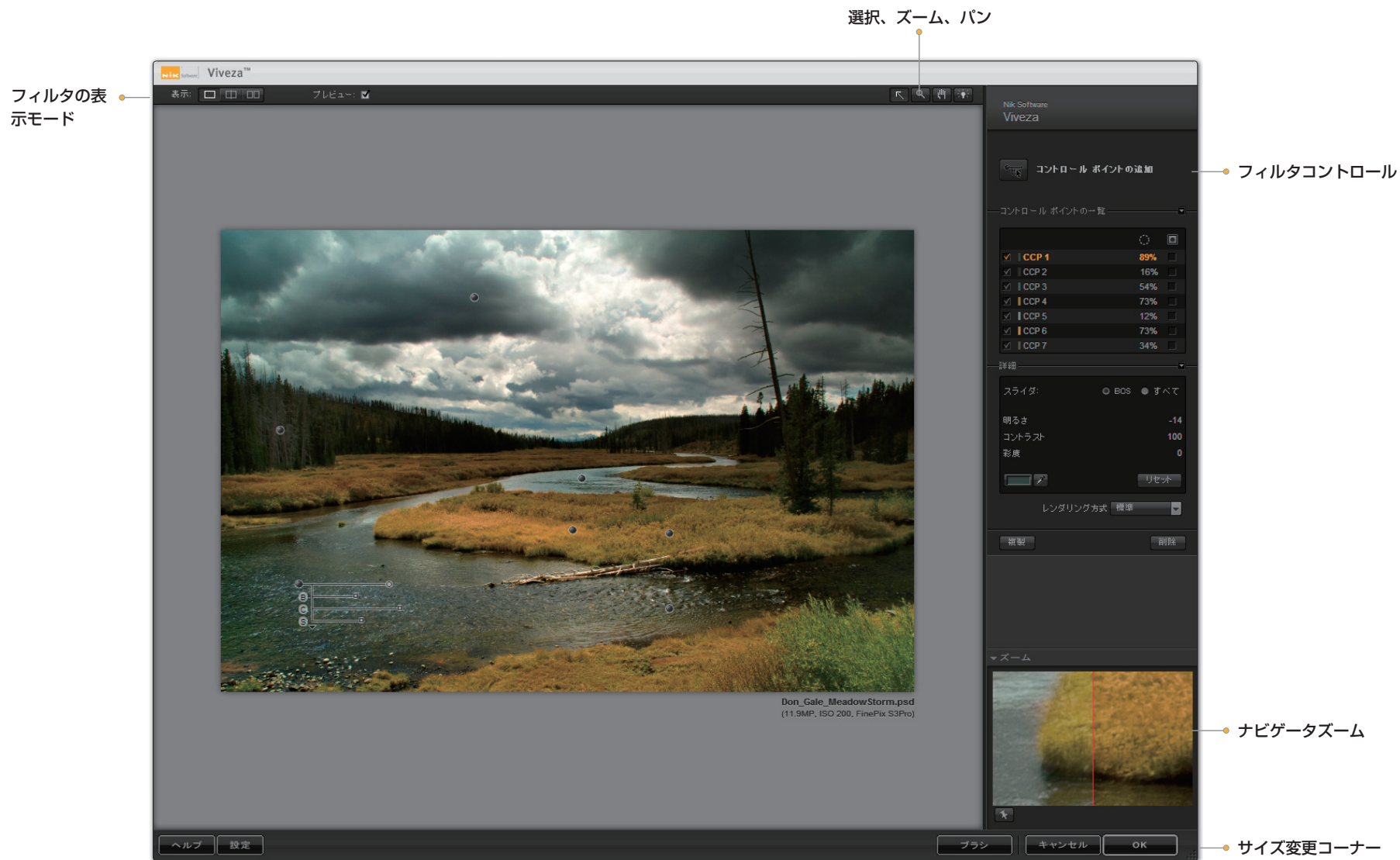
全体のバランスをとる固有の機能によって、コントロールポイントの効果は画像に対して途切れ目のない、自然な結果に仕上がります。



## 第 5 章

# インターフェイス

Viveza™ のインターフェイスの概要



## プレビューモード



Viveza では、アクティブ画像に適用したフィルタ効果のプレビュー用に 3 種類のモードを用意しています。

### 単一画像プレビュー



画像プレビューエリア全体に適用したフィルタ効果がかかった画像を表示します。効果の適用前と適用後とを比べるには、[プレビューチェックボックス] をオン、オフして、プレビューを切り替えます。

### 分割プレビュー



垂直または水平に引かれる赤い線で分割された画像を表示します。赤線から左または上の部分はフィルタ適用前の画像で、右または下の部分はフィルタ適用後の画像です。

100% または 300% にズームしている際、[パン] を使って画像を動かしたり、赤線をクリックし、ドラッグすることで、画像のディテールへのフィルタ効果を確認することができます。



- [プレビューの切替] ボタンをクリックして、左右分割と上下分割を切り替えます。

### 並列プレビュー



2 つの別々のプレビューが表示されます。左または上の部分はフィルタ適用前の画像で、右または下の部分はフィルタ適用後の画像です。

このモードのプレビューはズーム機能およびパン機能と連結しているので、フィルタ適用前と適用後での画像の全体や詳細を確認することができます。



- [プレビューの切替] ボタンをクリックして、左右のレイアウトと上下のレイアウトを切り替えます。

## プレビュー



アクティブ画像に適用したフィルタ効果のプレビューをオン、オフして、切り替えることができます。

- [プレビュー] チェックボックスをクリックして、フィルタ効果の表示と非表示を切り替えます。

## 選択



[選択] で、コントロールポイントを選択し、作業することができます。

### 選択のショートカット

A キーを押してこのツールに切り替えます。

Ctrl キー (Windows) または Command キー (Macintosh) を押して一時的にこのツールに切り替えます。

## ズーム



[ズーム] で、アクティブ画像をズームイン、ズームアウトすることができます。このツールを選択して、画像内で拡大したい箇所をクリックします。ズームアウトするには、Alt キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながら、画像をクリックします。Viveza では、3 種類のズームオプションがあります。

- ウィンドウのサイズに合わせる 表示は、画像全体が画像プレビュー内に収まるようにし、インターフェイスのサイズの変更に合わせて、ズーム要因を自動的に調節します。
- 100% 表示は、実際のピクセルのディテールを表示します。
- 300% 表示は、画像をさらにズームし、ピクセルの細かいディテールを表示します。

### ズームのショートカット

Z キーを押してこのツールに切り替えます。

Ctrl キー（Windows）または Command キー（Macintosh）を押しながらスペースバーを押し、一時的にこのツールに切り替えます。

Ctrl キー（Windows）または Command キー（Macintosh）を押しながら +（プラス）キーを押し、1 段階ズームインします。

Ctrl キー（Windows）または Command キー（Macintosh）を押しながら -（マイナス）キーを押し、1 段階ズームアウトします。

Ctrl キー（Windows）または Command キー（Macintosh）を押しながら 0 キーを押し、ウィンドウのサイズに合わせます。

Ctrl キーと Alt キー（Windows）または Command キーと Option キー（Macintosh）を押しながら 0 キーを押し、ズームを 100% にします。

### パン



[パン] で、画像を 100% または 300% で表示しながら、画像の位置を移動することができます。パンツールが有効になっているとき、マウスポインタは常にパン機能を果たし、パンツールの内容の位置を移動することができます。

### パンのショートカット

H キーを押してこのツールに切り替えます。

スペースバーを押して、一時的にこのツールに切り替えます。

### 背景色セクター



[背景色セクター] ツールで、画像の周りの背景の色を変更することができます。淡い灰色、灰色、濃い灰色の 3 色から選べます。

## 画像プレビュー

[画像プレビュー] エリアでは、アクティブ画像とそれに関連する情報を画像の下に表示します。

### 画像

アクティブ画像は、あらかじめ設定した表示モード、プレビューモード、背景、倍率で表示されます。この領域には、ウィンドウのサイズに合わせる、100% 表示、300% 表示 の 3 種類の倍率のオプションがあり、[ズーム] またはキーボードからのショートカットで操作します（前述の [ズーム] をご参照ください）。

### 画像情報

ファイル名は画像の下に表示されます。これはウィンドウのサイズに合わせる表示の選択がされているときに見ることができます。EXIF データがある場合は、ファイル名の下に画像の追加情報が表示されます。

### コントロールポイントの追加



このボタンをクリックして、コントロールポイントを追加します。マウスポインタの形が変わり、画像にコントロールポイントを置くことができます。

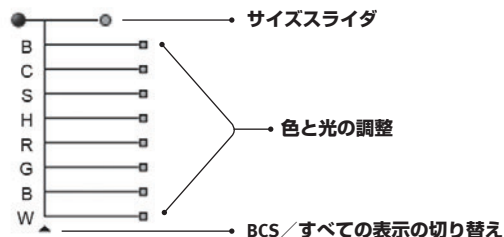
コントロールポイントを置いた後は、調整スライダでその部分の色と光をコントロールすることができます。

### 新しいコントロールポイントを追加するショートカット

Ctrl キー（Windows）または Command キー（Macintosh）+ Shift + A キー

### コントロールポイントの調整

コントロールポイントを追加した後、画像の色と光に加える編集の調整をします。コントロールポイントは以下の調整機能を提供します。



## サイズスライダ

サイズスライダはコントロールポイントの影響の及ぶ範囲を調整します。このスライダを右にドラッグするとコントロールポイントの範囲が拡大し、コントロールポイントを置いた場所から離れた場所にあるオブジェクトにも影響を与えます。

100% に設定すると、コントロールポイントは画像内に置かれた場所だけに影響するのではなく、オブジェクトの色や調子、ディテールを見て効果を加えるべき場所と、加えない場所を判断します。

左にドラッグすると範囲が縮小し、コントロールポイントを置いた場所に近いオブジェクトにのみ影響を与えます。影響を与える範囲は拡大、縮小する円で表示されます。

## 明るさ、コントラスト、彩度、色相、R、G、B、暖かさのスライダ

各コントロールポイントにはサイズスライダとともに BCS（明るさ、コントラスト、彩度）、またはすべて（明るさ、コントラスト、彩度、色相、R、G、B、暖かさ）のスライダが表示されます。

初期設定ではコントロールポイントに BCS スライダーが提供され、明るさ、コントラスト、彩度の調整のスライダーがあります。すべてのスライダーは明るさ、コントラスト、彩度、色相、R、G、B、暖かさといった Viveza 内で調整ができる全ての項目のスライダーが提供されます。

**Tip :** コントロールポイントのスライダーを調整する際、Shift キーを押しながら調整すると、あらかじめ決められたプリセット値で増減します。

## BCS/すべての表示の切り替え

各コントロールポイントに表示される三角形をクリックすると BCS（明るさ、コントラスト、彩度）とすべてのスライダーの表示の切り替えができます。

また、コントロールポイントを選択して、詳細の欄で BCS /すべての ボタンで変更することもできます。インターフェイスの設定画面では、BCS かすべてどちらを既定のスライダーとして表示するかを設定できます。

## コントロールポイントリスト

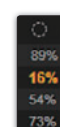


画像に適用された全てのコントロールポイントをリスト表示します。このリストにはそれぞれのコントロールポイントの基本的な情報、およびコントロールポイントの影響する範囲とプレビューを表示するオプションがあります。

## 効果のプレビュー表示コラム

画像にコントロールポイントを追加すると効果のプレビュー表示コラムのチェックボックスにチェックが入りますが、チェックを外すと画像にそのコントロールポイントの効果が適用されなくなります。

## サイズコラム



各コントロールポイントのサイズスライダーの値を表示します。

## 表示セクションコラム



コントロールポイントの影響する範囲を表示します。コントロールポイントの一覧の中の表示セクションにチェックを入れると選択したコントロールポイントの影響する範囲が表示されます。白はコントロールポイントの影響を受ける箇所を、黒は影響を受けない箇所を、グレーはある程度影響を受ける箇所をそれぞれ示しています。表示セクションのヘッダーをクリックすると全てのコントロールポイントの影響する範囲を表示または非表示にできます。

## 詳細

画像内に追加されたそれぞれのコントロールポイントの詳細な情報を表示します。それぞれのスライダの値を確認したり、その値をクリックして新たな値を直接入力することができます。

複数のコントロールポイントを選択すると、選択した全てのコントロールポイントの値が一度に調整できます。

### BCS／すべてのコントロール

スライダ: ☐ BCS ☒ すべて

BCS／すべてのコントロールでは、選択したコントロールポイントでどちらのスライダを表示するのかを選びます。BCS を選ぶと、明るさ、コントラスト、彩度のスライダのみ表示されます。すべてを選ぶと、明るさ、コントラスト、彩度、色相、R、G、B、暖かさのスライダを表示します。

**Tip :** コントロールポイントで使用する、BCS とすべての項目のスライダの切り替えは、各コントロールポイントに表示される三角形をクリックしても行えます。

## カラーピッカーとアイドロッパー



カラーパッチをクリックし、色を指定するためにカラーピッカーを呼び出し、変更したい色を選択します。色を選択すると、カラーパッチで選んだ色にオブジェクトの色がマッチするように調整されます。上記で説明されるカラーピッカーの代わりに、アイドロッパーを使い、アクティブ画像の中から色を選ぶこともできます。

## リセット

リセット

コントロールポイントのリセットするには [ 選択 ] ボタンをクリックし、リセットするコントロールポイントを選択します。その後、[ リセット ] ボタンをクリックすることで、コントロールポイントはコントロールポイントの既定値で指定されている設定に戻ります。

## レンダリング方式

レンダリング方式 標準

このレンダリング方式のプルダウンメニューは、全てのコントロールポイントがどのように適用されるか決定します。それぞれの方法はタイプの違う画像に最適化したアルゴリズムを使用しています。

それぞれのレンダリング方法は：

### ベーシック

最も速く直接的にコントロールポイントを適用する方法です。ウェブのグラフィックスやイラスト等の編集に適しています。

### 標準

最もスピードとディテール保護のバランスがとれた方法です。大多数の画像はこの方法が良いでしょう。

### アドバンスド

影の部分を明るくする場合、またはノイズやグレインが多くある画像に利用します。

## 複製



コントロールポイントの複製を行うには [選択] ボタンをクリックし、複製したいコントロールポイントを選択します。そして、[複製] ボタンをクリックします。選択したコントロールポイントのコピーが画像上に作成されるので、新しいコントロールポイントをドラッグして場所を移動します。

### 複製のショートカット

Ctrl キー (Windows) / Command キー (Macintosh) + D キー

または、

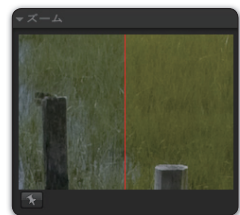
Alt キー (Windows) / Option キー (Macintosh) + クリック & ドラッグ

## 削除



コントロールポイントを削除するには、[選択] ボタンをクリックし、削除したいコントロールポイントをクリックします。次に、[削除] ボタンをクリックするか、キーボードの Delete キーを押します。

## ナビゲータズーム



このツールは、画像プレビューの状態に基づいて適切な情報を表示します。画像プレビューがウィンドウサイズに合わせる表示モードの場合はズームモードになり、マウスポインタがある位置の 100% ズームのディテールを表示します。画像ディテールの情報はフィルタ適用前と適用後を表示します。ズームが 100% または 300% になるとナビゲータモードになり、画像の全景から現在作業中の箇所を示します。このナビゲータ表示とズーム表示の切り替えは、効率的なワークフローのために自動的に行われます。

## ズームモード

ウィンドウのサイズに合わせるモードの画像プレビューで、ナビゲータモードがズームモードに切り替わります。赤の縦線が画像を二等分し、左側にフィルタ適用前の画像、右側に適用後の画像を表示します。これにより、プレビュー内でマウスポインタを当てた箇所のフィルタ効果を確認しながら、常に 100% で画像のディテールを見ることができます。

ズームで表示される領域を固定するには、ズームの左下にある [押しピン] アイコンをクリックし、ズーム内に留めたい画像の領域をクリックします。その領域の固定を解除するには、[押しピン] アイコンを再度クリックします。交互に右クリック (Windows) または Control クリック (Macintosh) して、固定機能を有効にしたり解除したりします。

ズーム表示内でパンするには、画像をクリックし、ドラッグします。また、赤線をクリックし、ドラッグすることにより、ズーム表示内の変更前と変更後のセクションのサイズを調節することもできます。

## ナビゲータモード

ウィンドウのサイズに合わせるモードから 100% または 300% へ変更すると、ナビゲータズームはナビゲータモードに切り替わります。ナビゲータモードのとき、ナビゲータ内の赤い方形窓が画像プレビューで現在表示されている画像の領域を示します。画像プレビューで表示したい画像の領域を、ナビゲータ内でクリックしてください。

## フィルタコントロール

フィルタコントロールを使用し、フィルタ効果を適用したり、解除したりします。

[ブラシ] ボタンと [OK] / [保存] ボタンで、指定したフィルタ効果をアクティブ画像に適用します。[キャンセル] ボタンで、画像を変更しないで現在のセッションで指定したすべての設定を取り消し、Viveza の画面を閉じます。

### ブラシ (Adobe Photoshop 内で利用する場合のみ)

[ ブラシ ] ボタンをクリックして、フィルタ効果を別のレイヤーに適用します。このとき、レイヤーマスクを自動的に作成、修正するために選択ツールを使用します ([「第6章：選択ツール」](#) をご参照ください)。

### キャンセル

[ キャンセル ] ボタンをクリックして、フィルタ効果を画像に適用せずに Viveza の現在のセッションを閉じ、画像編集アプリケーションに戻ります。

#### キャンセルのショートカット

Esc キーを押してキャンセルします。

### OK ( Adobe Photoshop ) / 保存 ( Lightroom または Apple Aperture )

[OK] ボタンまたは [ 保存 ] ボタンをクリックして、指定したフィルタを画像に適用し、Viveza の現在のセッションを閉じ、画像編集アプリケーションに戻ります。また、Viveza では、Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements でフィルタを別のレイヤーに適用するか、現在のレイヤーに適用するか、選択できるようになっています ([「第7章：フィルタインターフェイスの設定」](#) をご参照ください)。

#### OK のショートカット

Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh) を押してフィルタを適用します。

## 複数画像のコントロール

### (Lightroom または Aperture 内で利用する場合のみ)

Viveza で複数の画像を扱う場合、[ 前へ ]、[ 次へ ]、[ すべてを保存 ] の3つの新しいコントロールが使えるようになります。

#### 前へ

[ 前へ ] ボタンは、現在の Viveza のウィンドウに表示されている画像の1つ前に編集した画像に戻ります。

#### 次へ

[ 次へ ] ボタンは、現在の Viveza のウィンドウに表示されている画像の次の画像に進みます。

#### すべてを保存

[ すべてを保存 ] をクリックして画像に Viveza のフィルタ効果を適用し、Viveza の現在のセッションを閉じます。

#### [ すべてを保存 ] のショートカット

Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh) を押すと選択されている画像に Viveza の効果が適用されます。

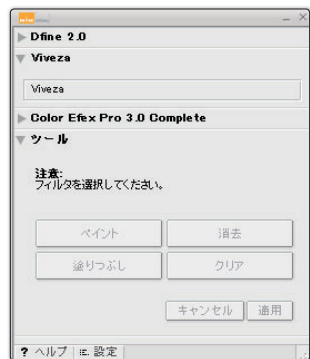


## 第6章

# 選択ツール

フィルタの効果を部分的に適用するには

## 選択ツール



選択ツールは、Adobe Photoshop および Adobe Photoshop Elements 内でレイヤーおよびレイヤーマスクの作成を自動化して Viveza を適用するためのツールです。

選択ツールを使用して、コントロールポイントの選択範囲と併せて選択的にフィルタ効果を適用することができます。Photoshop のブラシ、なげなわ、選択、グラデーションツールを使ってコントロールポイントの効果を適用するレイヤーマスクを作成します。

Dfine® 2.0、Color Efex Pro™ 3.0、Silver Efex Pro™ や Sharpeners Pro™ 3.0 がすでにインストールされている場合は、Viveza インストーラは現行の選択ツールをアップデートします。そして、同じパレットから全てのプラグインにアクセスすることができます。

選択ツールは、Wacom® ペンタブレットなどのような感圧タブレットと併せて使用し、感圧性を利用して Viveza フィルタを適用することができます。

**注意：**選択ツールは、Adobe Photoshop や Adobe Photoshop Elements を Viveza のホストとする場合のみ使用可能です。

**注意：**Photoshop アクションの作成に使用することはできません。アクションを作成するためには、[フィルタ]メニューから Viveza を選択してください。

## Viveza とのインタラクション

[選択ツール] ウィンドウにある Viveza セクションの Viveza ボタンをクリックし、フィルタを開きます。

Viveza のフィルタインターフェイスにある [ブラシ] ボタンをクリックすると、選択ツールや Photoshop / Photoshop Elements の [フィルタ] メニューの使用に関わらず、選択ツールが表示されます。フィルタは別のレイヤーにある画像のコピーに適用され、レイヤー名にはフィルタの名前が使用されます。[ペイント]、[消去]、[塗りつぶし]、[クリア] ボタンを使用して、自由にフィルタ効果を適用することができます。

## 選択作業ツール

選択ツールには、選択した Viveza フィルタを適用するための以下の 4 つのツールが含まれています。

### ペイント

[ペイント] ボタンをクリックして、現在のフィルタの効果をアクティブ画像にペイントします。[ペイントブラシ] モードが [通常] に設定されているか、また、不透明度が 100% に設定されているか確認してください。ブラシの不透明度を変えることで、画像にどの程度フィルタ効果を追加するか調整することができます。

### 消去

[消去] ボタンをクリックして、現在のフィルタの効果をアクティブ画像から取り除きます。[ペイントブラシ] モードが [通常] に設定されているか、また、不透明度が 100% に設定されているか確認してください。ブラシの不透明度を変えることで、画像からどの程度フィルタ効果を取り除くか調整することができます。

### 塗りつぶし

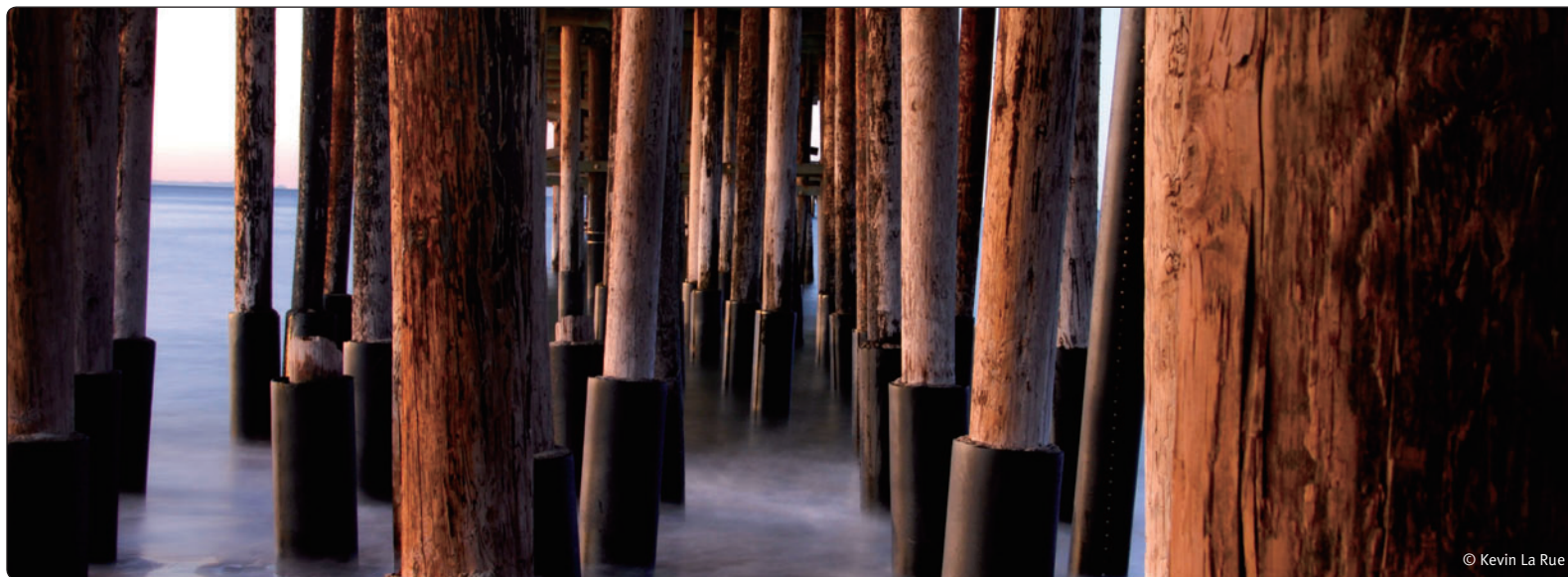
[塗りつぶし] ボタンをクリックして、フィルタ効果を画像全体に適用します。このツールは、フィルタ効果を小さい領域の全体に適用したいときに特に便利です。[塗りつぶし] ボタンをクリックしてから [消去] ボタンをクリックして、フィルタ効果を領域から取り除き、影響を受けないようにすることもできます。

### クリア

[クリア] ボタンをクリックして、フィルタ効果を画像全体から取り除きます。このツールは、[ペイント] ツールで間違っしまい、やり直したいときに便利です。

### 適用／キャンセル

[適用] をクリックして、現在のフィルタの効果を画像に適用します。フィルタ効果が適用されないようにするには、[キャンセル] ボタンをクリックします。



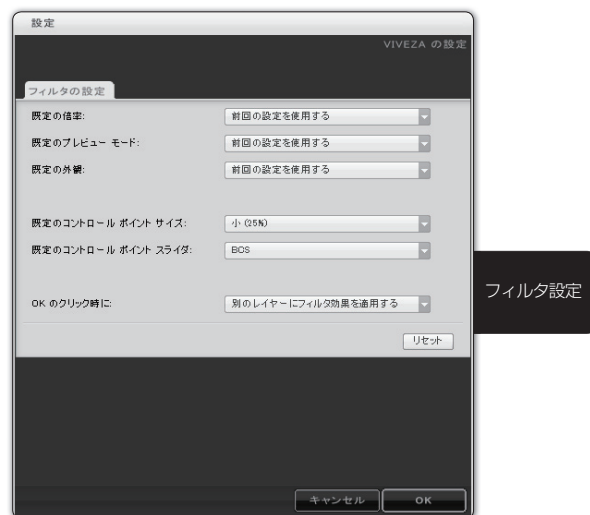
## 第7章

# フィルタインターフェイスの設定

フィルタインターフェイスの既定動作を調整

## フィルタインターフェイスの設定

Viveza フィルタインターフェイス上の [設定] をクリックして、既定の外観と機能について設定し、Viveza がどのように画像に機能するか決定します。



### 既定の倍率

[既定の倍率] で、インターフェイスの起動時に適用する倍率を設定することができます（[ズーム]をご参照ください）。

#### 100%

画像を 100% 表示で開きます。

### ウィンドウのサイズに合わせる

フィルタインターフェイス上で画像全体が見えるようにします。

### 前回の設定を使用する

画像を開く際には、直前の Viveza セッションで使用した拡大／縮小率が適用されます。

## 既定のプレビュー

[既定のプレビュー] で、Viveza を開いたあと画像をどのように表示するか指定できます（第5章の「プレビューモード」をご参照ください）。

### 単一画像プレビュー

単一画像プレビューを既定として設定します。

### 分割プレビュー

分割プレビューを既定として設定します。

### 並列プレビュー

並列プレビューを既定として設定します。

### 前回の設定を使用する

前回の Viveza セッションで使用したプレビューの設定で画像を開きます。

## 既定の外観

[既定の外観] で、プレビュー内で画像周りの領域の明るさを設定します。

- 淡い灰色
- 灰色
- 濃い灰色

## 既定のコントロールポイントサイズ

このオプションでコントロールポイントのサイズスライダの既定値を設定します。小さいサイズは、細かい選択が必要な際、大きいサイズは広範囲に編集を加える際、中くらいのサイズはその中間の作業をする際に効果的です。

### 小（25%）

画像にコントロールポイントを置いた際、サイズスライダの既定値が 25% に設定されます。

### 中（50%）

画像にコントロールポイントを置いた際、サイズスライダの既定値が 50% に設定されます。

### 大（75%）

画像にコントロールポイントを置いた際、サイズスライダの既定値が 75% に設定されます。

## 既定のコントロールポイントスライダ

各コントロールポイントに BCS かすべてのスライダのどちらを表示するかを設定します。

### BCS

画像にコントロールポイントを置いた際、明るさ、コントラスト、彩度のスライダを表示します。

### すべて

画像にコントロールポイントを置いた際、明るさ、コントラスト、彩度、色相、R、G、B、暖かさのスライダを表示します。

## 前回のコントロールポイント

前回画像に置いたコントロールポイントで使ったスライダの設定で表示します。

## OK のクリック時に（Adobe Photoshop 内で利用する場合のみ）

このオプションで、Viveza フィルタがどのように画像に適用されるか指定します。

**注意：**このオプションは、*Adobe Photoshop* や *Adobe Photoshop Elements* を *Viveza* のホストとする場合のみ使用可能です。

## 現在のレイヤーにフィルタ効果を適用する

このオプションは、*Viveza* の起動時にアクティブだったレイヤーにフィルタ効果を適用します。

## 別のレイヤーにフィルタ効果を適用する

別のレイヤーに *Viveza* のフィルタ効果を常に適用する場合はこのオプションを選択します。このオプションを使用し、レイヤーのあるフォーマットで最終的な画像を保存すれば、元の画像のディテールが確実に保持されます。

**注意：**このオプションを有効にすると、ファイルのサイズが大きくなり、処理時間が増える可能性があります。

**注意：***Viveza* でバッチ処理をする場合、フィルタ効果は別のレイヤーに適用されません。アクションを記録しながら別のレイヤーに *Viveza* を適用するには、*Viveza* を適用する前にレイヤーをコピーします。これにより、バッチ処理で各画像に新しくフィルタがかけられたレイヤーが割り当てられるようになります。

## リセット

[リセット] ボタンをクリックし、Viveza フィルタの設定を既定値へ戻します。



## 第 8 章

# 選択ツールの設定

選択ツールの既定動作を調整

## 選択ツールの設定（Adobe Photoshop 内で利用する場合のみ）

選択ツールインターフェイスの一番下にある [ 設定 ] ボタンをクリックして、選択ツールがどのように Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements、およびアクティブ画像とインタラクションすべきか指定します。



### Photoshop の起動時に

Adobe Photoshop または Adobe Photoshop Elements の起動時に選択ツールも起動するかどうか、このオプションで指定することができます。次の中から選びます。

- 選択ツールを開く
- 選択ツールを開かない

## フィルタ適用

上級ユーザー向けの機能として、選択ツールが Viveza のフィルタをどのように適用するか指定することができます。

### 画像合成

このオプションを選択して新しいレイヤーを作成し、[ 表示レイヤーを結合 ] コマンドを新しいレイヤーで実行し、フィルタがアクティブレイヤーだけでなく画像全体に適用されるようにします（これは Viveza での既定動作です）。また、選択ツールは他のすべての Nik Software 製品でも同様に動作します。

### アクティブレイヤー

このオプションを選択して、Viveza のフィルタを選択したときにアクティブであるレイヤーをコピーし、そのレイヤーのみにフィルタを適用します。

## [ 適用 ] のクリック時に

このオプションを選択して、選択ツールは [ 適用 ] がクリックされた際に Viveza フィルタの効果を別のレイヤーとして保持するのか、またはレイヤーを 1 つにまとめるのか指定することができます。

### 現在のレイヤーにフィルタ効果を適用する

このオプションを選択して、フィルタ効果が適用された画像と元画像を 1 つのレイヤーに統合します。このオプションを有効にして、ファイルのサイズを常に最小に抑えることができます。

### 別のレイヤーにフィルタ効果を適用する

このオプションを選択して、そのフィルタ効果が別のレイヤーに限定されるようにします。この設定を有効にしてアクティブ画像を別のレイヤーファイルに保存すれば、元画像の情報を保存し、フィルタ効果をいつでも取り除くことができます。ただし、このオプションを有効にすると、ファイルサイズが大きくなることもあります。



## 第9章

# 連絡先とサポート情報

追加サポート

## SOFTWARE Too への連絡先

### 株式会社ソフトウェア・トゥー

〒134-0086 東京都江戸川区臨海町 3-6-2

<http://www.swtoo.com>

#### ■サポートに関するお問い合わせ

製品に同封されているユーザー登録カードに記載されているサポート連絡先にお問い合わせください。

#### ■登録・アップグレードに関するお問い合わせ

Phone 03-5676-2178 / FAX 03-5676-2179

#### ■受付時間

月曜～金曜 10:00～12:00 / 13:00～17:00（祝祭日を除く）

※なお、やむを得ぬ事情により予告なくお休みさせていただく場合があります。

Nik Software 製品の詳細情報は、

[www.niksoftware.com](http://www.niksoftware.com) または [www.upoint.com](http://www.upoint.com) をご覧ください。

© 2009 Nik Software, Inc.

米国著作権法 6,728,421、6,865,300、7,031,547、およびその他の出願中の特許で保護されています。U Point と Dfine は Nik Software, Inc. の登録商標です。Viveza、Color Efex Pro、Silver Efex Pro、Sharpener Pro は Nik Software, Inc. の商標です。本書に記載のその他のすべての商標名は、各保有者の商標または登録商標です。